
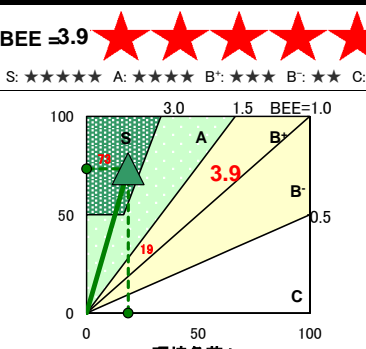
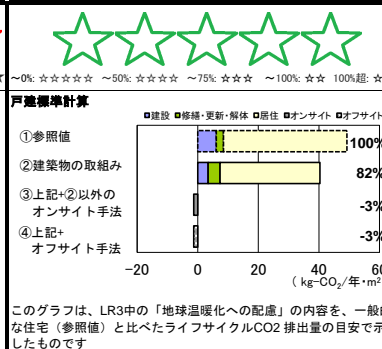
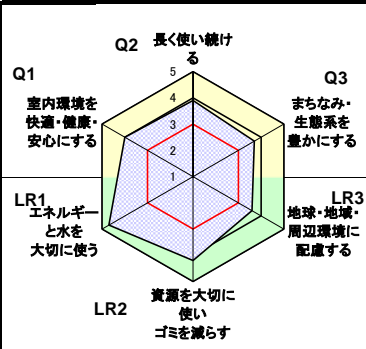


CASBEE®-戸建(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-戸建(新築) 2018年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-DH NC 2018v1.0

1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	国分モデルハウス新築工事	仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	確定 仮 仮	
竣工年月	2020年9月	竣工			
建設地	鹿児島県霧島市	<備考>			
用途地域	第一種中高層住居専用地域				
省エネルギー地域区分	1地域	評価の実施日	2020年7月20日		
構造・構法	木造	作成者	西尾 夢		
階数	2	確認日			
敷地面積	246 m ²	確認者			
建築面積	112 m ²				
延床面積	107 m ²				
世帯人数	4				

2-1 戸建の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE 3.9 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p> 	<p>★☆☆☆☆</p> <p>戸建標準計算</p> 	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する</p> 

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.9

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする (Q1のスコア= 4.0)	Q2 長く使い続ける (Q2のスコア= 3.9)	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする (Q3のスコア= 3.7)
暑さ・寒さ: 4.6, 健康と安全・安心: 3.5, 明るさ: 3.0, 静かさ: 4.0	長寿命に対する基本性能: 4.1, 維持管理: 4.3, 機能性: 3.0	まちなみ・景観への配慮: 4.0, 生物環境の保全と創出: 3.7, 地域の安全・安心: 4.0, 地域の資源の活用と文化の継承: 3.0

LR のスコア = 4.2

LR1 エネルギーと水を大切に使う (LR1のスコア= 4.7)	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす (LR2のスコア= 4.2)	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する (LR3のスコア= 3.6)
総合的な省エネ: 4.8, 水の節約: 4.5, 維持管理と運用の工夫: 4.5	省資源、廃棄物抑制に役立つ材料の採用: 3.8, 生産・施工段階における廃棄物削減: 5.0, リサイクルの促進: 5.0	地球温暖化への配慮: 5.0, 地域環境への配慮: 3.0, 周辺環境への配慮: 3.0

3 設計上の配慮事項		その他
<p>総合</p> <p>優れた断熱性能と高性能な設備の利用で高い省エネルギー性を実現し、環境負荷を抑えながらも快適に居住できる住宅としている。また、劣化対策・耐震性・維持管理対策においても必要な措置が講じられているとして設計住宅性能評価において最高等級を取得している。長く安心・安全・快適に暮らせるように、住まい手の暮らし方に応じた住まい方の提案や維持管理についてのサポートも充実させている。</p>	<p>Q1 室内環境を快適・健康・安心にする</p> <p>断熱等級4を超え、HEAT20の外皮性能基準でG2レベルの外皮性能を備えていることで、冷暖房期のエネルギー消費量を抑え、たうで快適で健康に生活できる住宅とすることができている。居室において2方向開口を確保し、通風・排熱を促進する取り組みを実施している。</p>	
<p>LR1 エネルギーと水を大切に使う</p> <p>節水設備やLED照明の使用により1次エネルギー消費量はBEI 0.41となり、基準1次エネルギー消費量を大きく下回る設計としている。HEMSを活用し電力使用量を管理・制御できるようにすることで消費エネルギー削減に積極的に取り組んでいる。</p>	<p>Q2 長く使い続ける</p> <p>設計住宅性能評価において、構造の安定、劣化対策、維持管理・更新の容易性、温熱環境・エネルギー消費それぞれで最高等級の基準に適合しており、長く安心して住み続けることができる住宅である。アフターサービス体制やメンテナンスについての取り組みを実施している。</p>	
<p>LR2 資源を大切に使いゴミを減らす</p> <p>構造躯体には持続可能な森林から産出された木材を使用することで資源を大切に使う配慮がなされている。構造躯体に利用する部材はプレカットにより現場加工の削減・廃棄物削減に取り組んでいる。また、外壁材や断熱材にはリサイクル可能な材料を使用し省資源化に配慮している。</p>	<p>Q3 まちなみ・生態系を豊かにする</p> <p>周囲のまちなみから突出しない建物高さ配置計画として調和のとれた建物となるよう配慮している。外構計画としては敷地内の多様な植栽や舗装の計画、接道部に圧迫感のある塀などを設けないことなど、良好な周辺環境の形成に配慮している。</p>	

- CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
- Q: Quality (環境品質), L: Load (環境負荷), LR: Load Reduction (環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (環境効率)
- CASBEE全体の表記ルールに従えば、CASBEE-戸建(新築)の場合、BEE_全、Q_全、LR_全などとすべきであるが、本シートでは簡略化のためHを省略した
- 「ライフサイクルCO₂」とは住宅の部材生産・建設から居住、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量であり、ここでは住宅の寿命年数と延床面積で除した値を示す
- 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q_全2、LR_全1中の住宅の寿命、省エネルギーなどの項目の評価結果から自動的に算出される(「戸建標準計算」の場合)
- ライフサイクルCO₂の算定条件等については、マニュアルおよび「CO₂計算」シートを参照された